

夢へ前進！平成29年度進路速報



イラストは たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp ※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

我が息子は熊本工業高校の2年生です。その子が全国携帯韻文コンテストの俳句部門にて入賞したんですが、その俳句を紹介します。

夏休み 地震にも負けぬ 地元力

これは夏休みの宿題の俳句があーっぱ祭りから帰ってから直後に書きとめたものです。祭りが地震にも負けない地元の底力を強く感じさせてくれ彼の心に響いたんだろうなーと想像します。私たち親も、今年の祭りの花火に安堵と幸せを感じました。祭りの実行委員会の皆様ありがとうございました。

(ゆきだるまさまご)

この度は、「第44回御船があーっぱ祭り」へのご意見をいただき、ありがとうございます。また、ご子息におかれましては、「全国携帯韻文コンテスト」に入賞されたということで、誠にありがとうございます。祭りで感じた「地元力」という力は、今後の復興に必ずや活かされると信じています。また、今後の祭りのあり方についても、今回いただいたお褒めの言葉を糧に、さらに皆様に喜んでもらえるように計画してまいります。

(商工観光係一同)



毛利 万奈 さん



〒861-3204
御船町木倉1253番地
28210056
fax 28211286
e-mail
mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp

熊本大学 工学部社会環境工学科合格

3年 田中大樹

- 《進学》
国立大学 4名合格！
○熊本大学
○長崎大学
○熊本県立大学 (2名)
私立大学 24名合格！
○熊本学園大学
○崇城大学
○近畿大学 他
短大・専門学校等を含め84名

- 《就職》
今年も100%内定達成！
○トヨタ自動車
○デンソー
○アイシン精機
○日産自動車
○京セラ
○コマツ 他
自衛官、自営等を含め66名

(株)デンソー 生産関係職内定

3年 井岸尚喜

私が志望校を決めたのは、3年生になってからでした。熊本地震から1年が経ち、徐々に復興している中で地震発生直後と変わっていない光景を目の当たりにし、被害を最小限に抑えることはできなかったのかと考えるようになりました。また1年生の頃から国立の大学へ進学したいと考えていました。だから、地域の防災技術を学ぶことができる国立大学として熊本大学を受験することに決めました。これまで進路実現に向けて指導してくださった先生方、支えてくれた家族や友人に感謝しています。

私は、高校卒業後の就職を考えて、御船高校電子機械科に入学しました。1、2年次はサッカーと学業の両立に力を入れ、学業面では、各考査で常に3位以内を目標に励みました。3年生になり、進路目標を決める際は、多くの求人の中から、日本の自動車製品のトップメーカーである(株)デンソーに就職したいと考えました。夏休み中も履歴書作成や面接対策のため毎日登校し、その結果内定を頂くことができました。入社後は社会人としてのマナーを身につけ、丁寧な仕事を心掛けて頑張りたいと思います。

文芸

ひとひねり

短歌

三人して囲む御神木あおぎ見る水音すがしき吉無田の里
山本志満子
何植うるか敏何本も立てありて朝の光に湯気しきりなり
市川 結子
晩秋にブルーベリーの葉は赤く燃ゆるが如く夕日に映ゆる
奥田利恵子
真紅なる今を盛りの紅葉葉を風よ散らすな夫の帰省まで
甲斐レイ子
自販機の冷たい伊右衛門姿を消し熱い伊右衛門ゴトンと落ちる
金森 英子
想定外の猛暑の夏も厳寒の冬にも老いの身ついては行けず
平野 文子

俳句

御船春菊句会 水野つとむ選

地震被災こころの糧の古暦
さくともこ
追ひかけて追ひかけらるる師走かな
緒方 栞
冬ざれて虚ろに伸ばす木々の枝
吉田登美子
枯つたや親子の絆なほ深む
渡辺ケイ子
ポーナスと緑なき日々の軽やかな
緒方 宣子
人の和のぬくみも貰ふ焚火かな

崩れたる社を灯す黄落期

守田 律子

肥後狂句

天狗会

とんざり声 子の騾から大げんか 米光 芙蓉
もう少し 区間記録も破れそう 増永 笑和
張り切つて 母がうつつ子の見合い 河地 ゆき
やっぱ無理 チャック閉めたら張り裂けた 林田 実花
犬が相棒 耳が代りや目の代り 川部 呉穂
子供達 部活に塾に忙がしか 吉田 楽園

一般投稿

疫病神追ひ払わんと集落に赤と青との鬼面にらむ 西梅 芳久
羽深く嘴を差し入れ眠れるか夕べ水面に浮く緋鳥鴨 西梅 孝子
湯上りの頬を撫で行くさわやかな川面の風とせせらぎの音 石坂 貞子